

進路コーナー (Vol.1)

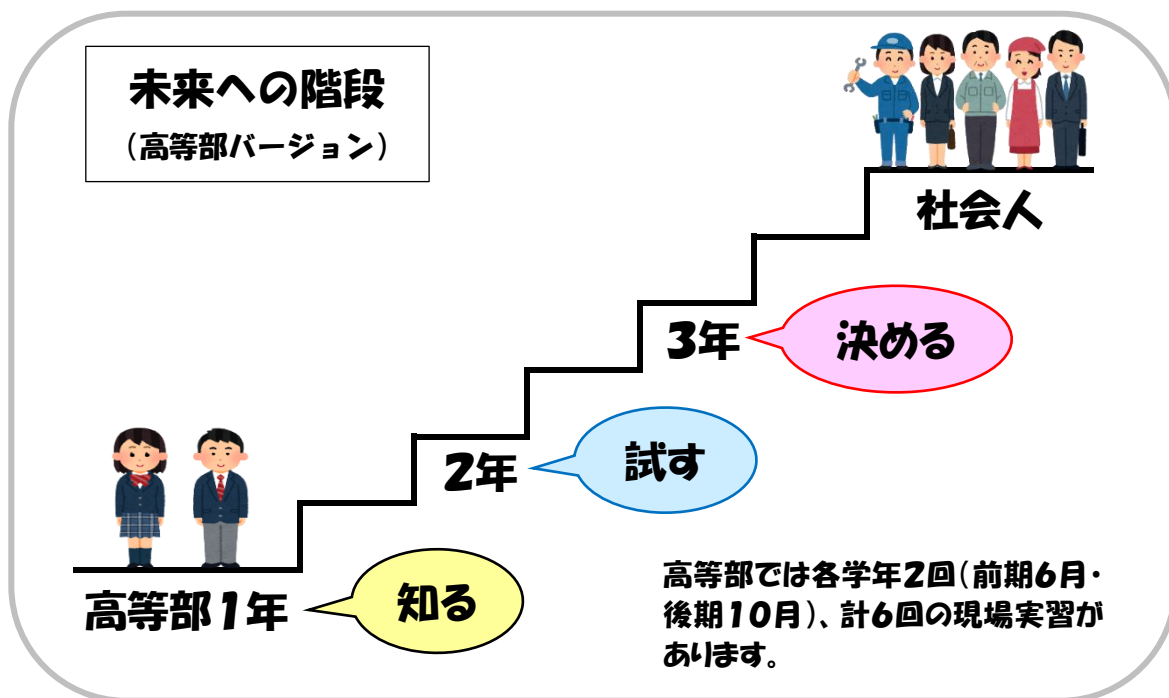
今年度は、前期に予定している高等部現場実習や中学部チャレンジ学習、職場見学等は、新型コロナウイルス感染症の状況を把握しながら、実施する予定です。引き続き、学校として状況把握及び感染防止に努めながら、実施できる範囲で各学部の進路学習を進めていきたいと思っております。

本校の進路指導重点目標は、以下のとおりです。

- 働くために必要な力や生活を豊かにする力を身につける。
- 自分の能力や適性、周りの環境について理解し、主体的に進路選択・決定する。
- 地域とかかわり、自分の役割を果たしながら生活する力を身につける。
- 学ぶことと働くこと、生活することとのつながりを意識し、目標に向かって挑戦する意欲を高める。

「進路」というと、高等部、早くても中学部になってからというイメージが強いかもしれませんが、実際、作業学習が始まるのは中学部からであったり、現場実習は高等部であったりします。しかし、小学部でも進路につながる学習はたくさんあります。町探検で様々な仕事に触れたり、係活動に取り組んだりすることもその一部です。さらに「働く」ことに関する学習はもちろんですが、重点目標にあげているように「生活する」ということも重要なことです。そう考えると、基本的な生活習慣や人とかかわる力等は、小学部段階からの積み重ねがとても大切です。

下の図は、学習の際に生徒たちにも提示している『未来への階段』です。高等部では学年によって目標をたて生徒たちに伝えています。作業学習だけでなく、日々の様々な学習の中で「働くため」「生活するため」に必要な力をつけていきます。そしてそれを試す場として現場実習があります。生徒たちには「現場実習で頑張ればいいや。」ではなく、日々の学習が自分の将来につながるのだとわかって取りくんでほしいと考えています。一歩ずつステップアップしていけるよう、生徒たちの豊かな生活につながるよう、私たちもしっかりと支えていきます。



進路情報



保護者の皆様のニーズに応じた情報を学部だよりの進路コーナー、学校 HP で発信していきたいと思ひます。「もっと詳しく知りたい。」等の要望があればぜひ担任まで！

高等部卒業後の進路としては、大きく分けて以下の3つがあります。進路を決めるにあたっては、「自分がどんな生活を送りたいか。」が大切になってきます。

一般就労

- 一般の企業等に就労すること
- 障がい者雇用枠で就労することが多い

仕事をして自立した生活をしたいな

福祉就労

- 福祉事業所で就労すること

支援を受けながら、自分のペースで豊かに生活したいな

進学

- 東部・西部高等技術校、県立農林大学校、鳥取大学附属特別支援学校専攻科等で学ぶこと

学びたいことをさらに専門的に深めていきたいな

福祉就労の種類について、詳しく紹介します。

就労移行支援

・一般就労を希望する人で、原則2年間のプログラムに基づき、生産活動やその他の活動を通して、就労に必要な知識や能力の向上のために必要な訓練等を利用する。

就労継続支援A型

・利用者と事業所が雇用契約を結んで、給料をもらいながら、生産活動やその他の活動を通して、必要な訓練等を利用する。

就労継続支援B型 ※卒業後すぐに利用するためには、在学中に就労アセスメントを受ける

・生産活動やその他の活動の機会の提供等を受け、工賃をもらいながら必要な訓練等を利用する。

自立訓練（機能訓練・生活訓練）

・定められた期間、地域生活を営むために必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を利用する。標準利用期間は2年以内。

生活介護

・主として、障がい者支援施設等で、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動の機会の提供等のサービスを利用する。（障がい者支援区分3以上）

※就労アセスメントとは、就労継続支援B型のサービスを新たに利用したい方は受ける必要があります。期間は1週間程度、就労移行支援事業所等にて作業を行い、本人の「伸びしろ」や必要な配慮事項を把握するために行うものです。実施できる福祉事業所は、はあもにいほうす（邑南町）、遊亀館（大田市）、ワークくわの木熱田事業所（江津市、浜田市）があります。